

路線バスの現状について

路線バスの課題

■ 運転士不足

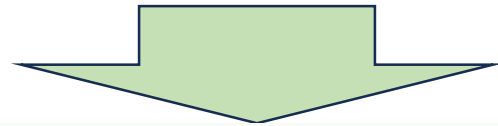
- ・ 全国的に深刻な状況で、**廃止・減便**が相次いでいる
- ・ 本市でも同様であり、一畑バスが本年8月14日以降、市営バスが10月1日以降、一部路線で減便を実施

■ 2024年問題

- ・ 2024年4月、バス運転士の労働時間にかかる「新改善基準告示」が施行（運転士に係る拘束時間の短縮、休息時間の延長など勤務条件の改善措置が発効）
- ・ 運転士の増員がなければ、既存の路線・ダイヤの運行は困難。目下人材難のため、**路線・ダイヤの見直しが必要**

路線バスの課題

- 「地域公共交通計画(仮称)」での位置づけ整理
 - ・ 本市が2023年度中に策定予定の「松江市地域公共交通計画(仮称)」に、路線バスの役割を位置づけ整合を図る
- 乗降データ分析等による運行の効率化
 - ・ 2021年4月、ICカードによるバス料金決済を導入（2023年9月末普及率：市営バス54.6%）



運転士不足、2024年問題への対応のため、**2024年4月以降、市内路線バスの路線・ダイヤの見直しが必要**

2024年4月～ 市営バス路線ダイヤ見直し (素案)

松江市交通局

基本コンセプト

① 持続可能な運行の実現

- ・ 現状の運転士不足は、2024年問題により更に厳しい状況になることを踏まえ、**安全かつ安定的な運行**ができるようにする

② 分かりやすさ

- ・ **利用者にとって分かりやすい路線系統**に集約・統合
(バス事業者の窓口や運転士の負担軽減にも寄与)

③ 効率的な運行

- ・ **交通系ICカード等のデータを活用**し利用実態に応じた運行

基本コンセプト

④ 安全な運行

- ・ 狭隘箇所等、**リスクの高い箇所の運行頻度を下げる**

狭隘箇所等での運行が困難な背景（例）

- **乗用車の横幅が年々拡大し、すれ違いが困難に**
(1500～1600mmだった乗用車が、1700～1800mmに)
- **大雪が降ると、除雪作業が困難なため運行に支障**
(雪を掻いて両側に寄せると、家への出入り等に支障)
- **市民からの苦情**
(バスのエンジン音、振動などに対する苦情)

Ⅲ：わかりやすく・効率よく・持続可能な路線へ

現在、精査中

■ 現行の複雑な路線・系統を再編し、“わかりやすさ”を追求

現 行	
路線名	系統数
第1路線（川津線）	15
第2路線（あじさい団地線）	8
第3路線（竹矢線）	11
第4路線（大海崎・八束町線）	20
第5路線（八重垣神社線）	12
第6路線（市立病院線）	12
第7路線（南北循環線）	18
第8路線（朝日ヶ丘線）	6
第9路線（法吉ループ線）	8
第10路線（レイクライン）	3
合計	10路線

路線
再編

113

運行経路のパターンを6割強減

再 編 案	
路線名	系統数
第1路線（北循環線）	4
第2路線（南循環線）	5
第3路線（川津線）	3
第4路線（あじさいループ）	系統新設 2
第5路線（竹矢線）	3
第6路線（八束線）	8
第7路線（ソフビ線）	3
第8路線（八重垣線）	2
第9路線（病院ループ／Hospital LOOP）	系統新設 2
第10路線（朝日ヶ丘線）	2
第11路線（法吉ループ）	2
第12路線（レイクライン）	2
合計	12路線

38

同じ路線でも行先、経由地のパターンが非常に多い⇒複雑かつわかりにくい路線に

参考（他地域の状況）

米子市＝日本交通16路線22系統、日ノ丸自動車15路線34系統

宇部市交通局（人口16万人）＝21路線54系統／佐賀市交通局（人口22万人）＝25路線82系統

徳島市交通局（人口25万人）＝4路線32系統／神戸市交通局（人口150万人）＝85路線85系統

路線と系統とは

『路線』は目的地などに応じた大まかな分類（例：北循環線・川津線など）で、『系統』は、それぞれの路線の運行便を起終点や経由地などのルートでさらに細分化したもの。

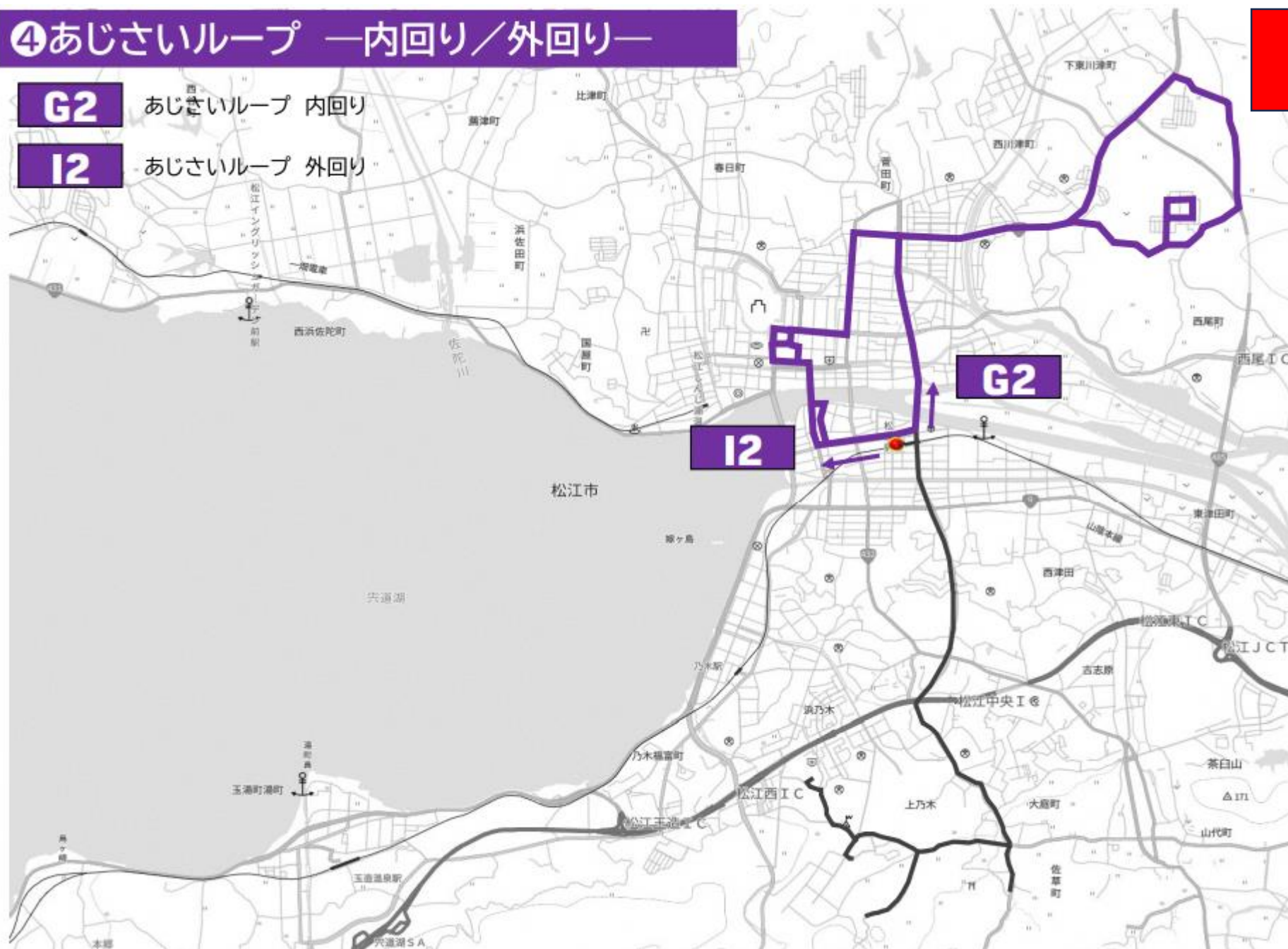
④あじさいルート ―内回り／外回り―

G2

あじさいルート 内回り

I2

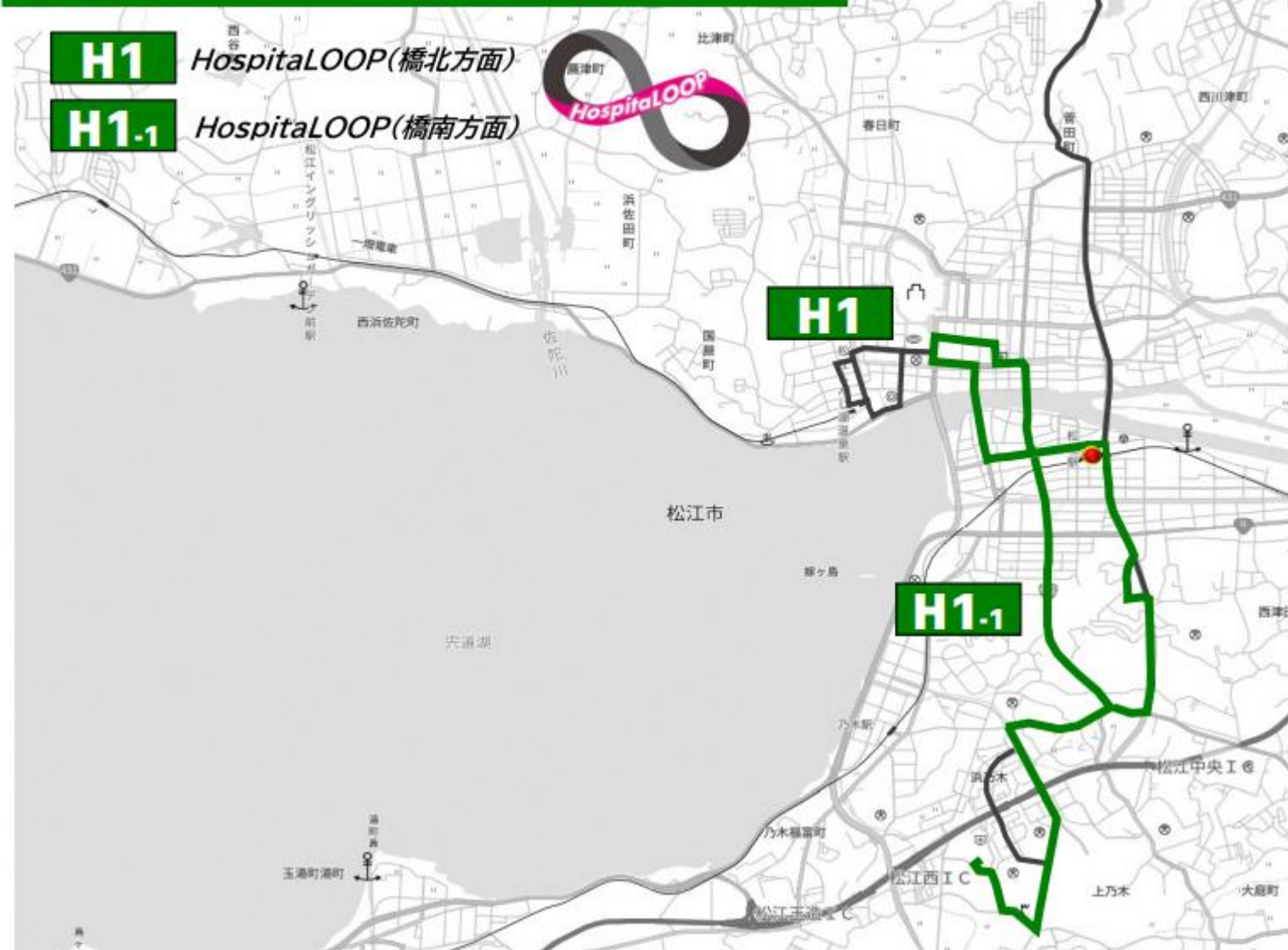
あじさいルート 外回り



現在、精査中

現在、精査中

⑨病院ループ —HospitaLOOP—



2024年4月～ 市営バスのダイヤについて

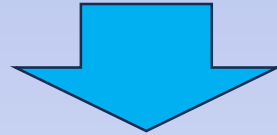
- 本局では、10月1日に減便を実施したところ
- **2024年4月以降のダイヤ**については、**運転士の充足状況**を見極め、**交通系ICカードの乗降データ等を活用**しながら引き続き検討

1人役減らそうとすると

およそ10便程度の減便が必要

安定的な運行のため、10人役を確保するためには

およそ100便の減便（全体の約25%）

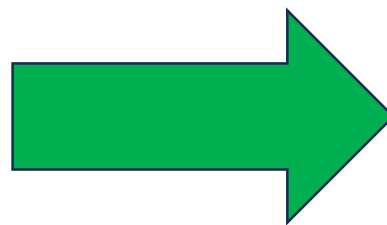


**市が介入し、一畑と交通局の
ダイヤ調整など行う必要**

路線バス利便性向上に向けた取り組み（案）

■ 金額式定期の導入（2024年3月予定）

区間定期
<u>松江駅</u> ↔ <u>市役所前</u>
11月1日から 2023.11.30 まで



金額式定期
<u>大人210円区間</u>
11月1日から 2023.11.30 まで

* 金額式定期とは… 同一運賃区間であれば路線・ルートを問わず、乗車可能な定期券

①2021年以降導入した事業者への聞き取り結果

- ・利便性向上により定期購入者が増加、運転士、窓口の負担軽減効果

②定期割引率の見直し検討

- ・一般 40% ⇒ 30% 【例：松江駅～市役所前の一カ月定期 現行7,560円 ⇒ 8,820円】